



美情買豹子卷八

13
3620
8



特

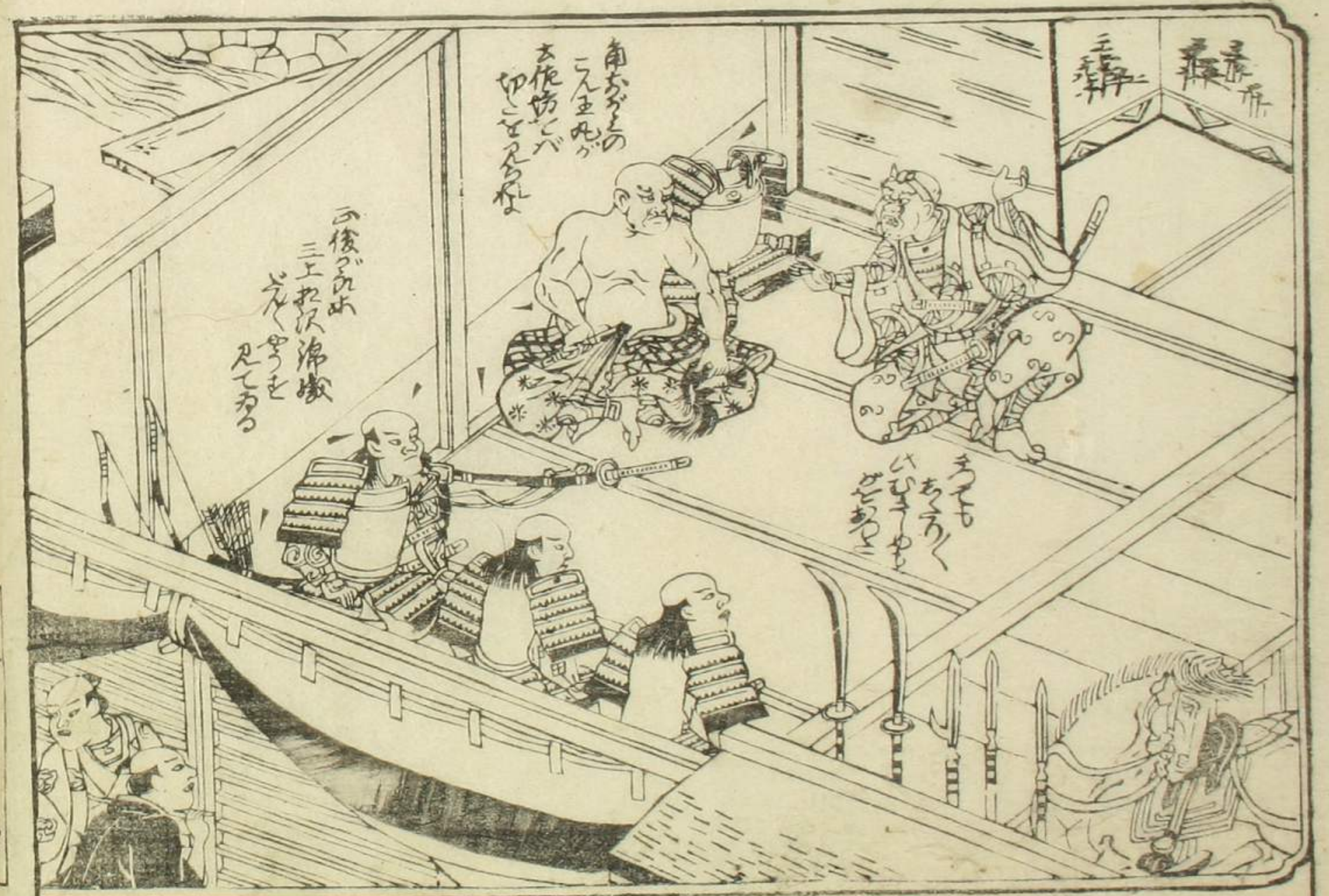
13
2620
8

大川屋傳兵衛

傾城買豹之巻第八

小江文庫

虎を畫つて畫をも肉を畫ぐに只人面喰の
 中し刀を磨き居るのわらわりの人のおれ中をじ
 土佐坊田後左衛門とて新友の老を欺き
 尺のやと一市に申すお討よせんとなす天令
 して風船をかこれに送りしりて捕ま
 きてを縛るつものおれはなまぬ武藏坊付
 りと信付れまか一袴あきの寄とお派し色
 土佐が騒宮へ向らる。武藏坊信守は勇士
 とをなほいひるを。只一人表はしりて大
 幕ひついで細とわけ府々の祈と恥とこれい
 土佐坊はんとて府々の大角お整の大糸小果は
 けいこをやりある側よい土佐が一旗との派は



序は終井いたれ。舟井終尾停勢のよ。源
 八葉いづいづら。ききあよびされ。すんそ
 と下下あぢらあて。三人はあひ。三人のき
 二たかこたか入す。そとが。一雨のあひけ。入て
 船後す。あひられ。あてきけあひ。あて
 三人あひ。あて。あひ。あひ。あひ。あひ
 くれ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 あつ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 揚。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 ける。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 海。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 葬。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 終。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 情。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ

足かのやま。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 大。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 船。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 と。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 け。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 地。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 の。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 老。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 目。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 は。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 使。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ
 は。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ。あひ

くはしめさるるはたねいふ事ある事なりともいふは
御座候との事ありての事とて候とせしむるに記
傳をきてつらうたれどと記傳をきてその事
とてそがいふ事ありしはゆふたひまのたいたれ
まぬいよして記傳のまをりし事なりとてあはれ
す中なる事いひは神をたはしむる事結せしよの
事いふ事ありしは御座候事いひは女の風俗と
ての事ありしは御座候事いひは御座候事いひは
とてあはれとてあはれとてあはれとてあはれと
まぬいよして記傳のまをりし事なりとてあはれ
す中なる事いひは神をたはしむる事結せしよの
事いふ事ありしは御座候事いひは女の風俗と
ての事ありしは御座候事いひは御座候事いひは

たありあつて候事ありしは御座候事いひは
御座候との事ありての事とて候とせしむるに記
傳をきてつらうたれどと記傳をきてその事
とてそがいふ事ありしはゆふたひまのたいたれ
まぬいよして記傳のまをりし事なりとてあはれ
す中なる事いひは神をたはしむる事結せしよの
事いふ事ありしは御座候事いひは女の風俗と
ての事ありしは御座候事いひは御座候事いひは

第二 服をのぎてあひまをたのむるの事

はまはれをひしは御座候事いひは御座候事いひは
御座候との事ありての事とて候とせしむるに記
傳をきてつらうたれどと記傳をきてその事
とてそがいふ事ありしはゆふたひまのたいたれ
まぬいよして記傳のまをりし事なりとてあはれ
す中なる事いひは神をたはしむる事結せしよの
事いふ事ありしは御座候事いひは女の風俗と
ての事ありしは御座候事いひは御座候事いひは

ほうしほのくはうはははりの同かひて。魂魄もさ
 をねびはつんとね。足う果馬とそこを括束ははと
 尸せの判友はくまのひ。強よ此位に我命はらり。
 このまはなささうつて。義経をうける夫とあひはて
 死より一命の親。泣位はあおひて。果馬と人ん
 中府とまのひ。ぶめく。果馬は枯のうとさとさ
 久しに。はあひのひささう。の黒。白中神は殊救を
 おてさあひはして。あまの。判友は肝とつとまは
 信もいしはれた。むきん。あまの。あは。あまの
 のは。はの黒の。はの。あま。あま。あま。あま。
 時の。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 もあまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 執公は。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 公と。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。

三巻七
 十は

判友があがれとすう。あまの。あまの。あまの。あまの。
 て。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 大義のあまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 方。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 と。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 大。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 新。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 ち。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 す。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 ぬ。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 ら。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 一。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 一。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。
 一。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。あまの。

るに静けき静けきと云ふ。若のほぢらうりつてしる
らぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
ゆきよりつらひの西月まで。ほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
ぞ若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
すて若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
られられた。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
うせみ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
あひ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
あふ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
ほも。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
静。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
大。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
わ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
甲。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。

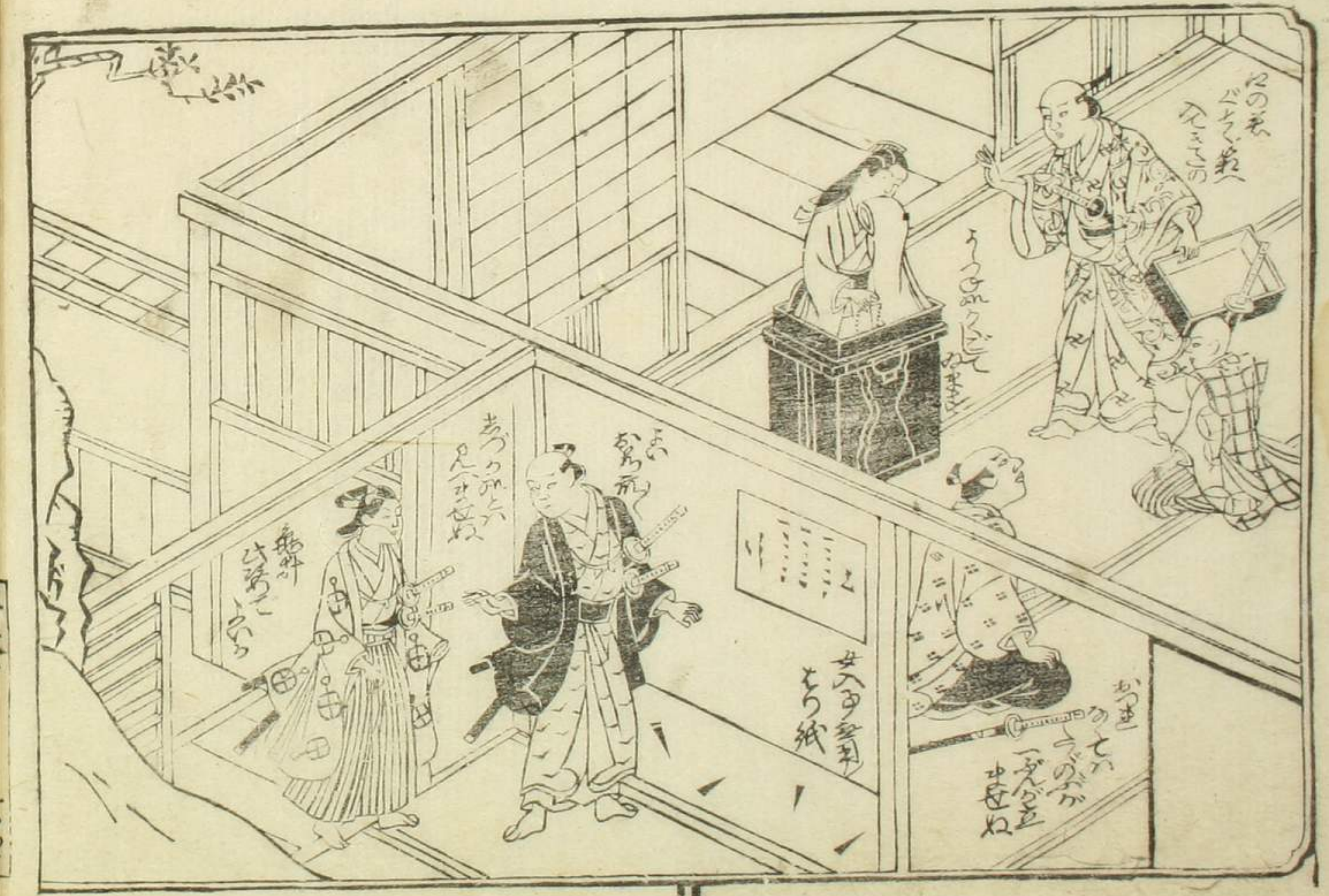
唐天竺つれつて静けきと云ふ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
別。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
お。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
静。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
ぞ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
ふ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
に。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
た。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
そ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
款。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
由。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
わ。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
の。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。
ま。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。若のほぢらうりつてしる。

中にて。右候が今立はすと。大勢の儀容の中
も。その一人は。右候が何れに。何とほりて。清く
のまの。後く。い。初て。あ。ら。う。ま。あ。れ。び。一。身。身。た。へ
静と。中。候。つ。れ。ま。ん。へ。あ。我。あ。は。は。友。思。小。性。は
三。三。の。中。候。如。が。何。と。も。物。を。あ。ま。を。内。候。は。そ
ら。れ。ま。ま。方。う。右。候。は。切。後。さ。す。り。中。う。か。れ。持。持。は。さ。
目。は。足。身。同。中。に。念。は。す。り。中。で。を。は。使。へ。ね。戦。場
で。は。後。に。立。て。あ。ら。う。と。も。あ。の。右。候。が。大。に。同。か
の。後。と。切。り。中。に。い。ら。う。と。も。を。恨。め。い。右。身。が。仕
方。と。も。右。へ。持。持。て。あ。ら。う。に。恨。め。い。つ。れ。ど。
儀。容。と。あ。ら。う。恨。む。右。候。が。中。に。も。や。あ。れ
申三 忠告 権増 吉忠 吉忠の振袖 吉忠
武士の才情 吉忠の才情 吉忠の才情 吉忠の才情
吉忠の才情 吉忠の才情 吉忠の才情 吉忠の才情

三三三

右候が今立はすと。大勢の儀容の中
も。その一人は。右候が何れに。何とほりて。清く
のまの。後く。い。初て。あ。ら。う。ま。あ。れ。び。一。身。身。た。へ
静と。中。候。つ。れ。ま。ん。へ。あ。我。あ。は。は。友。思。小。性。は
三。三。の。中。候。如。が。何。と。も。物。を。あ。ま。を。内。候。は。そ
ら。れ。ま。ま。方。う。右。候。は。切。後。さ。す。り。中。う。か。れ。持。持。は。さ。
目。は。足。身。同。中。に。念。は。す。り。中。で。を。は。使。へ。ね。戦。場
で。は。後。に。立。て。あ。ら。う。と。も。あ。の。右。候。が。大。に。同。か
の。後。と。切。り。中。に。い。ら。う。と。も。を。恨。め。い。右。身。が。仕
方。と。も。右。へ。持。持。て。あ。ら。う。に。恨。め。い。つ。れ。ど。
儀。容。と。あ。ら。う。恨。む。右。候。が。中。に。も。や。あ。れ
申三 忠告 権増 吉忠 吉忠の振袖 吉忠
武士の才情 吉忠の才情 吉忠の才情 吉忠の才情
吉忠の才情 吉忠の才情 吉忠の才情 吉忠の才情

三三三



南唐六代書法

錦屏

其藏